

様式 1 発表者の COI 自己申告書

申告者氏名 _____

所 属 _____

申 告 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

この発表演題に関連して、開示すべきCOI関係にある企業などを項目ごとに記載する

(発表者全員について、抄録登録時から遡って過去3年間の COI 状態を発表者ごとに申告)

項目	該当の状況	有の場合、 発表者ごとに企業名を記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1年間の本株式による利益) (1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 企業への出資金またはストックオプション(新株予約権)の有無 (1つの企業への出資額が100万円以上、ストックオプションは予定の一株あたり株値に予定数量を乗じた金額が100万円以上)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表、助言など)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬 (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	

<p>⑥ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上のものを記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑦ 企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費 (1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間 100 万円以上のものを記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄附金 (1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた年間 100 万円以上のものを記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑨ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合、実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた年間 100 万円以上のものを記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑩ その他の報酬(研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など) (1つの企業・団体から年間 5 万円以上のものを記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑪ 現在または過去 5 年以内に企業・組織、営利を目的とする団体に所属した経歴(併任を含む)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	<p>※有の場合、発表者ごとに企業名と所属期間を記載</p>
<p>⑫ 企業・組織や営利を目的とした団体からの試料・薬剤・機材などの提供 (当該臨床研究において使用される試料・薬剤・機材などを無償もしくは特に有利な価格で提供されている場合に記載)</p>	<p>(本人) 有・無</p>	

⑦、⑧については、筆頭および共同発表者個人か、筆頭および共同発表者が所属する部局(講座、分野)あるいは研究室などへ、研究成果の発表に関連し開示すべき COI 関係にある企業や団体などからの研究経費、奨学寄付金などの提供があった場合に申告する必要がある。

*親族とは、申請者と生計を一にする配偶者及び一親等の親族(両親及び子供)とする。